

千里ライフサイエンスフォーラム開催のお知らせ

2024年12月フォーラム(第373回)

- **開催日時**：2024年12月16日(月) 18時00分～19時00分
※終了後19時00分～20時00分に懇親会を実施します。
- **開催形式**：千里ライフサイエンスセンタービル6F 千里ルームAにて会場参加と講演収録。後日約1カ月録画配信
- **配信対象**：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)
会員以外の皆様にもお申込みいただければ3日間限定で録画配信
- **講師**：宮地 充子 先生
大阪大学大学院工学研究科 電気電子情報通信工学専攻 教授
- **テーマ**：「脆弱性対策から考えるサイバー攻撃への備え」
- **講演要旨**：

近年、サイバー攻撃の目的が愉快犯から金銭目的等へ移行している。例えば、コロナ禍において、医療・製薬業界へのサイバー攻撃の急激な増加が報告されている。両業界には創薬にかかわる機械学習の手法などの知的財産、さらには、他の業界より詳細な個人情報を含む患者記録などの高価な情報があることも重要な要素と考えられる。また、創薬開発に用いる機械学習の手法等の知的財産情報や詳細な個人情報は、国家支援のサイバー攻撃の対象にもなっていると報告されている。また、知的財産情報や個人情報では、内部犯罪の比率も高い。このため、サイバー攻撃を回避するための脆弱性対策は必須といえる。

しかしながら、脆弱性対策自体それほど容易ではない。なぜなら、サイバー攻撃の危険性をゼロにすることはできないこと、脆弱性対策自体が目に見えないため、どこまで実施するといのかがわからないこと、経費には限界があるからだ。

本講演では、サイバー攻撃の危険性がゼロにできないという前提において、サイバー攻撃対策として提供されているチェックリストを用いて、脆弱性対策について考える。

● 講師プロフィール：

学歴：大阪大学大学院理学研究科修士課程修了，博士（理学）

職歴：パナソニック株式会社，北陸先端科学技術大学院大学，（財）日本情報処理推進機構 監事

専門分野：情報セキュリティ，プライバシー，サイバーセキュリティ，AIセキュリティ

主なる著書：

1. 北川 源四郎，竹村 彰通（編集），赤穂 昭太郎，今泉 允聡，内田 誠一，清 智也，高野 渉，辻 真吾，原 尚幸，久野 遼平，松原 仁，宮地 充子，森畑 明昌，宿久 洋（著），「応用基礎としてのデータサイエンス AI×データ活用の実践（データサイエンス入門シリーズ）」講談社，2023.
2. 宮地 充子，「代数学から学ぶ暗号理論」，日本評論社，2012.
3. 宮地 充子 菊池 浩明「情報セキュリティ」，オーム社，2003（共編著者）.

主なる講演テーマ：サイバーセキュリティの脆弱性対策について考える。

参加対象/参加費：千里ライフサイエンスクラブ会員（年会費2,000円）/ 無料

録画配信希望のお申込はご不要です。

会員以外の皆様にもお申込みいただければ3日間限定で録画配信

録画配信の準備が整い次第、視聴方法の案内メールを送らせていただきます。

申込先：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団「千里ライフサイエンスフォーラム」担当

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 Tel：06-6873-2006 Fax：06-6873-2002

E-mail：srlf-forum@senri-life.or.jp （HP：<https://www.senri-life.or.jp/>）